

新みらい

第7号

主な内容

平成24年
2月議会/6月議会
要旨報告

討議資料

発行責任者/中田 潤 編集責任者/三浦 英一

地域と県政のかけはしに!



秋田県議会 教育公安委員会副委員長

渡部 英治

ごあいさつ



“秋田に明るい未来を創るため、
今何が一番大切か?”を語る!

FM秋田「大人のレッツスタディ」収録にて
8/6(月) 午前11時30分~11時50分 (約6分間)放送予定

県民の皆様には日頃より私たち会派「新みらい」の議会活動に特段のご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。県議会においては、第二会派として県政の重要な局面で、県民の利益につながるよう常に存在感を発揮しているところであります。

さて、長引く不況や産業の空洞化などで、本県の経済雇用情勢は依然として厳しい状況です。県議会でも、実効性のある対策も含めて県政の重要課題について当局と議論を重ねております。

今回は、当初予算などを審議した2月議会を中心にその概要を県民の皆様にご報告いたします。

今後とも初心と感謝の気持ちを忘れずに、全力で取り組んでまいりますので、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。ごあいさつといたします。

Q & A 今年度重点施策から

Q. 『未来づくり協働プログラム』とはどんな施策?

A. 2012年度から5年間、県と市町村が財源を出し合い、地域の活性化に取り組むもので、市町村から事業を提案してもらい、総額50億円の交付金を25市町村に配分する事業。
おおむね1市町村2億円が目安。

Q. 『観光文化スポーツ部』新設のねらいは?

A. 本県の観光、文化、スポーツを通じて交流人口の増加と地域経済の活性化を図るものであり、建設交通部から交通政策課が組み込まれ、観光戦略課、スポーツ振興課、秋田うまいもの販売課など、6課1室態勢で職員は約110名。
部長には、民間から初の登用となる前田和久氏。

2月議会

〈会期：2月20日～3月23日〉

可決した当初予算には、「未来づくり協働プログラム推進事業」や年10億円の費用が見込まれる小学6年生までの医療費助成の拡大などの事業が盛り込まれた。

また「森林・林業・林産業活性化推進議員の会」が提出した民有林の林道、作業道の整備を促進する林内路網整備促進条例案を全会一致で可決した。

2月議会で可決された主な議案

2012年度 一般会計 当初予算案

〔前年度比 0.1%増 (5億2,600万円)〕

6,026億 7,800万円

- 経済・雇用対策 894億円
- 再生可能エネルギー関連やインフラ整備など 169億円
- 防災強化や医療費助成拡大など 141億円
- 観光・文化・スポーツ振興 35億円

2月議会・6月議会

代表・一般質問・総括審査質問者

2月議会では、会派を代表して安藤豊、こだま祥子両議員が代表質問と一般質問を行いました。また知事との一問一答方式の総括審査は、渡部英治、三浦茂人両議員が県政の重要課題について舌鋒鋭く質疑を展開しました。6月議会では、三浦英一県議が一般質問を行い、総括審査は、渡部英治、中田潤両県議が質疑しました。



◆2月議会◆ 代表質問

安藤 豊 [湯沢市・雄勝郡]

- ◆ 知事の政治姿勢について
- ◆ エネルギー問題について
- ◆ 豪雪対策について
- ◆ 観光文化スポーツ部の新設について
- ◆ 農業問題について
- ◆ 林業振興について
- ◆ 少子化対策(福祉医療費助成制度、結婚支援センター)について
- ◆ イメージアップ戦略について
- ◆ 教育問題について



◆2月議会◆ 一般質問

こだま 祥子 [潟上市]

- ◆ 防災安全対策について
- ◆ 「再生可能エネルギー導入事業」の「あきたびじょん」について
- ◆ 八郎湖水質浄化対策について
- ◆ 県民の幸福度アップについて
- ◆ 武道の必修化について



◆2月議会◆ 総括審査質問

渡部 英治 [大崎市・仙北郡]

- ◆ 県財政と重点施策について
- ◆ 観光文化スポーツ部の新設について
- ◆ がれきの広域処理について
- ◆ 再生可能エネルギーの現状と課題について



三浦 茂人 [秋田市]

- ◆ 今後の財政運営(予算編成方針)について



◆6月議会◆ 一般質問

三浦 英一 [由利本荘市]

- ◆ 知事の任期最終年度への取り組み方針と来年度以降への展望について
- ◆ TDK生産拠点再編による雇用問題について
- ◆ 秋田八幡平クマ牧場について
- ◆ 今夏の節電対策について
- ◆ 生活保護について
- ◆ 高等学校再編整備計画について



◆6月議会◆ 総括審査質問

渡部 英治 [大崎市・仙北郡]

- ◆ 観光振興と新部の機能について
- ◆ 職員の不祥事問題について
- ◆ 横断歩行者保護について



中田 潤 [能代市]

- ◆ 木質ペレットの放射能問題について
- ◆ 植物工場とTDKの空き工場との整合性について
- ◆ 豪雪対策について

土谷 勝悦 [横手市]

議会選出監査委員として、県の予算執行を厳しくチェックする役目を担っています。



6月議会

〈会期：6月15日～7月10日〉

補正予算の主な内訳は、災害復旧関連事業をはじめ、TDKの生産拠点再編に伴う離職者支援として県と市町村の雇用創出に充てる121人分の人件費1億7,112万円、閉鎖する工場を活用した「植物工場」実証事業に3,375万円を盛り込んだ。

6月議会で可決された主な議案

2012年度
一般会計 補正予算 **89億9,880万円**

補正後 2012年度一般会計の累計 **6,123億6,610万円**

- 4月の記録的強風で被害を受けた公共施設などの災害復旧関連事業 **26億 439万円**
- 新設の観光文化スポーツ部関連事業 **2億2,178万円**
- 「ふるさと秋田元気創造プラン」の施策など **37億 6,860万円**

● 県産あきたこまち 食味ランキング

最高の「特A」復帰に成分分析器の導入費として3,975万円を計上。2010年、2011年産の県産あきたこまちが2年連続で「特A」を逃しており、2012年産米の「特A」復帰を目指してのこと。

● 強風被害・老朽化した県内の交通信号機257カ所を更新

4月の強風により、秋田市で交通信号機が落下したことを受けて、県警は県内全域の信号機の点検を実施。その結果、257カ所に破損や亀裂が見つかり、年度内にすべて更新することにした。事業費は1億9,889万円を計上している。

精力的に行動する 会派「新みらい」 平成24年1～7月

県内調査

● 門脇木材 〈仙北市〉

自ら杉林を育て、製材所を運営。育林から製品の製造、販売まで手掛ける木材総合企業である。

秋田杉再生のためにも、当社に続く多くの企業の出現が望まれる。



仙北市の門脇光浩市長、秋田内陸縦貫鉄道の酒井一郎新社長、NPO法人、県議会超党派が参加のもと意見交換会が行われ、具体の事業提案やユニークなアイデアなど様々な意見が出され、熱気あふれる意見交換会となりました。



● 秋田内陸縦貫鉄道に関する意見交換会 〈仙北市・平成24年1月23日～24日〉

● 大仙美郷クリーンセンター

〈大仙市花館・平成24年4月22日〉

岩手県宮古市の災害廃棄物試験焼却結果を踏まえて、大仙市で4月23日から、がれき本格受入開始決定となった。本格受入前日、当施設を視察し、安全性確保、搬入体制、処理計画等について説明を受けた。



大仙美郷クリーンセンター



大仙美郷クリーンセンター内

● 秋田県消防学校

〈由利本荘市岩城・平成24年4月30日〉

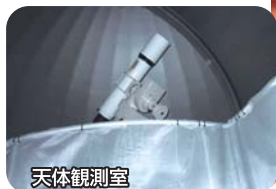


センター内での説明

● 文化交流館カダーレ

〈由利本荘市・平成24年4月30日〉

昨年12月に完成した文化複合施設。約22万冊収納可能な図書館があり、天体観測も可能。



天体観測室



図書館

東日本大震災以降、県民の防災意識が高まる中、県内唯一の災害疑似体験機能を有する防災センターを視察。今年度リニューアルし、防災教育の充実に取り組む計画。



地震体験室

渡部 英治の 県議会レポート



渡部 英治
6月議会

今回は、6月議会総括審査における質疑の概要について紹介します。

●観光振興と新部の機能について（新聞記事より）



美味しい秋田がここにありません。

●職員の不祥事問題 について（抜粋）

渡部 先般、大里議長より県議会の総意として「県職員の相次ぐ事務ミスと庁内対応のまずさが目に余る。」と職員の注意喚起と適切な対応を知事に申し入れている。これまでも飲酒運転等の不祥事が発生しており、県幹部の意向が職員にうまく伝わっていないのではないか。緊張感がないのではないか。根本的な原因は何か。注意喚起と再発防止の具体策は。

知事 誠に申し訳ない。重ねて県民にお詫び申し上げます。原因としては、職員に緊張感が足りず、職場の意志疎通も欠けていたと考える。再発防止として、朝礼や文書など目に見える形で注意喚起する必要がある。併せて、再発防止の指針を策定する。

渡部 職員一人ひとりが、今一度“全体の奉仕者”としての自覚と誇りを持って欲しい。

知事 全く同感であり、“公務員は全体の奉仕者”との認識を全職員に再徹底する。



当局の姿勢を厳しく追及！

○：「知事がなまはげになって、秋田を売り込んでどうか」。総括審査で渡部英治氏（新みらい）が、県の東京アンテナショップ「あきた美彩館」周辺で、こんなPR活動をするよう提案した。佐竹敬久知事は「顔が隠れるので、なまはげでない方がいい」と「遠慮」し、議場の笑いを誘った。
渡部氏は、最寄りの品川駅構内に

県議会記者席

知事がなまはげ姿に？

同館の案内ポスターがあるものの、目立たず分かりづらいと指摘。「美女と野獣」とは言わないが」と前置きし、県出身タレントの佐々木希さん、加藤夏希さんの協力を得て、本県を想起させやすいなまはげに扮した知事との「組み合わせの妙」でPRする案を示した。
2年前、県産青果物を首都圏に売り込もうとコック姿で料理を披露した佐竹知事だが、今回の提案には「パフォーマンスにも工夫が必要」。次はどう売り込む？（土田絵美子）

県議会記者席（平成24年7月6日／秋田魁新報）